



理学療法だより



2011年1月

今回は先日、院内で行った看護補助者研修会について報告します。

研修テーマは「移動・移乗介助」。

日常の介護業務のなかで患者様の移動・移乗介助の機会が多いと思います。

いかに介助者の体への負担を少なくし、患者、介助者とも安全に確実にできる介助方法を介護士の皆さんと実技を通して学びました。

まず、車イスへの移乗介助について説明を行いました。

安全で患者さんに負担をかけずに移乗するための**ポイント**とは・・・。



必要な要素

- ① 正常な運動パターンを利用する
- ② 適切な支援
- ③ 動作の速度
- ④ 口頭指示
- ⑤ 人の体への触れ方
- ⑥ 福祉用具の利用



誘導ポイント

- ① ベッドと車イスの位置
- ② 殿部の前方移動
- ③ 足底の接地
- ④ 体幹の前傾
- ⑤ 健側体幹や下肢から誘導する

説明を終えた後、大腿骨頸部骨折術後の免荷時の移乗方法を例に実技をしました。

実技では介助者よりも体の大きい患者、小さい患者、口頭指示が困難な場合の介助方法を介護士の皆さんと理学療法士が意見交換をしながら行いました。



移乗介助を日々の業務のひとつとして行っているうちに、ついつい自分流になっていたのかも知れません。

今回の研修会で、介護士の皆さんが自分の体を傷つけず患者さんが安楽に生活が送れるように実践してもらいたいと思います。

